

IV 研究のまとめ

(1) 成果と課題

1 単元構成の工夫

- 児童生徒に対して単元のゴールを明確に示すことで、毎時間のねらいがしっかり把握できるようになり、子どもの学ぶ必要性が高まった。
 - 他教科と横断的に関連させたり、学校行事等と合わせたりすることで、それぞれの教科で相乗効果が生まれ、単一の教科だけの学びではないと意識する子どもが出てきた。
 - 単元全体を通して、徐々に難易度を上げていくことで意欲が持続し、次時の学習に期待を持つ子どもが増えた。また小中学校の接続と系統性を意識するようになった。
 - 指導事項を精選し、何を身につけさせるのか、授業後の姿をイメージして構成することができた。また、他教科単元でも実践を重ねることができた。
- 見通す、対話する、考える、振り返るなど目指す学びの場面を明確にしながら単元を構成したが、子どもの学習状況に応じて、導入時に前時内容の再確認や導入方法の修正を行い、各時間の学びをスムーズにつなぐ必要がある。
 - 単元全体を通して学ぶ意欲を持続させ夢中になって学ばせるためには、前時までの児童生徒の発言や気づきを生かして本時の課題設定を行うなど、子どもたちの思考の流れに沿った単元を構成する必要がある。
 - 子どもたちが「主体的に学んだ」「楽しく課題を追求した」「学習内容がよくわかった」など夢中になって学んだ実感をもてたのかどうかの客観的な調査を工夫する。

夢中になって学ぶ子どもの育成

2 授業における深い学びのための教師のコーディネート工夫

- ペアやグループ、ロールプレイングや番組制作など学習形態や指導方法を工夫することにより、自分と他者の考えを比較したり、意欲的に学習に取り組んだりすることができた。
 - 発問を精選し、一問一答とならないように工夫することで考えが広がり、新たな課題や発見を見出すなど深い学びにつながった。
 - ICTを有効に活用することで、課題解決の見通しをイメージできたり、自分自身を客観的に捉えることができたり、児童生徒の考えを短時間で共有できたりするなど教育効果が上がった。
 - 子どもの学びの姿をイメージすることで、学習課題の文言や言語活動等を吟味することができた。いくつかのパターン
- を予想しておくことが深い学びにつながるということが分かった。
- 一問一答の発問や教師と子ども1対1のやりとりになってしまうことがあり、教師が正解を誘導してしまう場面が見られた。個や全体に問い返すなど子どもたちの思考に寄り添った発問や、思考を広げ深める働きかけの工夫が必要である。
 - 個人差への対応等教師のコーディネートが不十分なところがあった。個のまとめ・適用・振り返り・定着を見取り生かす。
 - 夢中に取り組ませることで時間がかかってしまい、時間をかけるべきところにかけれず、まとめや振り返りの時間を確保できなかった。教師のタイムマネジメントの意識を高めたり、ICTを有効に活用し短時間で考え方を共有したりまとめたりする工夫が必要である。

(2) おわりに

夢中になって学ぶ子どもはどんな姿なのかをイメージしながら本研究に取り組んできた。「没頭している」「自分の意見を積極的に発言している」「他の方法がないか考えている」など子どもによってその状態は様々である。その状態を単一の授業で終わらせるのではなく、持続できるように単元構成や教師のコーディネート工夫を通して実現しようと試みてきた。本冊子には、各指導委員が実践し様々な意見をいただきながらまとめた内容が凝縮している。上記のように成果と課題が見えてきたが、今後も子どもたちの思考に沿った発問の工夫やそのタイミング、指導形態など子どもたちの学びを実現するために本研究をさらに進めていきたいと考える。本研究が指導委員のみならず本市の多くの教職員に共有され、夢中になって学ぶ子どもが増えていくことを心より願う。

(副委員長 渡邊 博樹)

令和3年度二本松市教育委員会指導委員会作成委員

◎委員長 服部英昭 (川崎小校長) ○副委員長 渡邊博樹 (二本松二中教頭)

西屋 純 (安達太良小)	佐藤深鈴 (小浜中)	小野真樹 (油井小)	内谷昌史 (東和小)
佐藤裕美 (小浜小)	佐藤昭英 (安達中)	山口美由紀 (渋川小)	武田 透 (東和中)
阿部真佐子 (杉田小)	渡邊恵美 (二本松一中)	山崎純子 (原瀬小)	大槻瑞也 (二本松北小)
武藤利教 (二本松三中)	塩田咲江 (大平小)	菅野香代子 (二本松南小)	増子美保 (岩代中)
大和田樹 (東和小)	平山真由美 (岳下小)	遠藤知子 (いわしろさくらこども園)	

令和3年度二本松市教育委員会作成委員

丹野 学 (教育長)	安齋憲治 (学校教育課長)	太田孝志 (管理係長)	長澤 潤 (指導係長)
高橋政喜 (指導主事)	鹿目敦子 (指導主事)	紺野宗作 (指導主事)	奥山 満 (指導主事)
糎田祐子 (指導主事)			